

ドラッグストア 専門性で売る

セガミメディクス 店で健康相談

関西で店舗を運営する大手ドラッグストアが健康相談や訪問看護など健康サービスの拡充を競っている。薬剤師以外にも薬の販売を認める改正薬事法が施行され、大手スーパーなど異業

種参入が関西でも進むと判断。ディスカウントストア(DS)型の店舗から脱却し、付加価値の付いたサービスで消費者の囲い込みを目指す。

スギHD 患者に薬宅配

ココカラファインホールディングス傘下で関西地域のセガミメディクス(大阪市)は店舗に健康診断機器を導入した。貧血の目安となるヘモグロビンなどを測定し、薬剤師や管理栄養士が薬や栄養指導を含めた健康相談を無料で提供する。昨年9月から3店舗でサービスを始めたが、延べ3千人が利用。導入店舗を増やす方針を決めた。

スギホールディングス市(大阪府高槻市)の店舗に体脂肪率や筋肉量、内臓脂肪レベルなどを測定する端末を試験的に導入した。利用者から訪ね、医師の指示に基づ

いて薬の宅配や体調のチェック、栄養剤や抗がん剤の投与などを実施する。関西で派遣拠点の拡充を急いでおり、今年初めに大阪府豊中市に関西3カ所目を開設。2010年度には関西を含めて6拠点を新設する。大量出店を続けてきたドラッグストアの出店競争も激化し、新たな進出先も限られ、売り上げの伸び率も縮小してきた。異業種からの参入も相次いでおり、ドラッグストアは専門性を生かしたサービスを提供することでシェア拡大を目指す。12年春には専門性を高める目的で06年度に6年制となった大学の薬学科の卒業生の採用も可能になる。「病院に次ぐ医療サービスの担い手を目指す。ただ一定の先行投資が必要なことから、医療分野への接近を目指す大手と、それ以外の中小で経営戦略の違いが今後明確になっていきそうだ。



▼薬剤師によるサービス
実際に病人を診断するのは医師以外ではできない。薬剤師の業務範囲は一般用薬品(大衆薬)の販売、服用の助言や相談が中心。比較的风险の

ある医療用医薬品は医師の処方せん無しでは処方できない。薬剤師は採血は許されず、採血は脈拍や血圧など体

タに限られる。在宅患者向けには服薬の介助や薬の宅配業務はできる。採血などが認められている看護師と連携すれば、サービス内容を広げられる。



セガミメディクスの健康診断サービス

店舗名	サービス内容
セガミメディクス	健康診断機器を使い、薬剤師などが健康チェック。PET診断などの検査仲介も
キリン堂	生活習慣改善を指導する定期プログラム提供やセミナー開催
スギホールディングス	自宅療養中の患者を訪問し、体調チェックや薬の配送、栄養剤などの投与
ファルメドイコ(調剤薬局、大阪市)	介護施設・在宅医療向けの往診に同行し医薬品を調剤、配達
クオール(調剤薬局)	在宅医療向けの調剤に特化した店舗を運営。医薬品を患者に宅配